

令和7年度「インターネットによる遠隔教育受講生（遠隔選科生）」募集要項

科目名 遠隔-5 保健経済学

- A. 科目責任者：福田 敬（保健医療経済評価研究センター）
- B. 科目の内容概略ならびに一般目標(General Instructional Objective: GIO)と行動目標(Specific Behavioral Objectives: SBO)

○内容概略

保健医療分野でも、限られた資源のもとでの効率的なサービス供給が求められており、「経済学」の視点から保健医療プログラムを分析することが重要な課題となっている。特に、保健医療プログラムの効率の評価、つまり費用と結果の両面からみた「経済的評価」に関しては、基本的な考え方や具体的な手順などは十分に認知されていないのが現状である。

本科目では、経済学の視点から捉えた保健医療の特徴および保健医療プログラムの経済的評価（基本的な考え方や具体的な評価方法など）を中心に講義し、現場（地域、職域、臨床など）で経済的評価を実践するための技術を習得することを目的とする。

○一般目標：保健医療の経済学的特徴と保健医療プログラムの経済的評価の方法を理解し、現場（地域、職域、臨床など）で応用できる知識・技術を習得する。

○行動目標

- ・経済学における基本的な用語（財、サービス、市場、消費者、生産者、政府、需要と供給など）を説明することができる。
- ・経済的評価の手法である費用効果分析の基本的な考え方と分析方法を説明することができる。
- ・経済的評価における基本的な用語（増分費用効果比（ICER : incremental cost-effectiveness ratio）、質調整生存年（QALY : Quality Adjusted Life Year）など）を説明することができる。
- ・経済評価論文を理解し、批判的吟味ができる。

○科目の進め方

- ・回ごとに資料と課題を提示する。
- ・期限内にレポート課題を提出した後、次の回に移る。
- ・掲示板において、適宜質疑応答を行う。

C. 各回における獲得目標

第1回：経済学的にみた保健医療の特性と市場の失敗

経済学の視点からみた保健医療の特性と市場の失敗の要因を理解する。

第2回： 医療の費用対効果の考え方

費用効果分析の基本的な考え方と分析方法を理解する。

第3回： QALY 算出のための QOL 値の測定

QALY 算出のための QOL 値の測定方法を理解する。

第4回： 費用効果分析の事例

費用効果分析の事例を吟味し、分析方法や結果についての理解を深める。

D. 担当者一覧：福田 敬(保健医療経済評価研究センター)

E. 募集定員：定員 10 人

F. 受講資格：保健医療福祉関連業務に従事する者

G. スクーリングの有無：なし

H. 修了認定の方法：

各チャプターにおけるレポート、掲示板での発言回数

I. 開講期間：令和8年1月19日～令和8年2月20日

J. 受付期間：令和7年11月4日～令和7年12月5日

K. 追加提出書類等：なし

L. 使用テキスト：なし

M. 接続環境：インターネットを用いて科学院遠隔教育システムにアクセスできる。

N. 専門課程（分割後期を含む）認定単位：1